

4月の生活表

2025年 4月

聖マリア幼稚園

年主題：ともに

月主題：うごきだす

保育日数（21日）

月目標：＜3歳児＞

- ・新しい出会いの中で、進級児も入園児も保育者と一緒に賛美や祈りを通して神さまの愛に包まれている雰囲気を感じる。
- ・まわりの様子を見たり好きな人や場所を見つけたり、繰り返し遊ぶことで安心して過ごす
- ・身近な花や草、虫を保育者と一緒に見つけ、春の訪れを感じる。

＜4・5歳児＞

- ・お祈りや聖歌、聖書のお話、そして保育者の眼差しやことばの中に、神さまに愛されているという安心を覚える。
- ・これまでの体験や関わりに重ねて、遊びの続きや友だちとの交わりを喜ぶ。
- ・春の自然の美しさや面白さを感じて過ごす。

《 遊びは学び 学びは遊び 『やってみたいが学びの芽』 》

ご進級・ご入園おめでとうございます。いよいよ2025年度が始まりました。今まで静かに形（なり）を潜めていた多くの花々が一齐に咲き始めると同時に、花の美しさに誘われて、人の出も多くなってきましたね。皆さんは、春休みにはどんな新しい経験ができましたか？

さあ、進級した子どもたち、そして11日からの新入園児を交えて、今年度は30人での出発です。今年度はどんな遊びを繰り広げるのでしょうか。誰がどんな成長を見せてくれるのでしょうか。楽しみです。30人のうち3人が入園。pre-preから一人、卒園生の弟、お母さんが卒園生のお子さんと全くマリア幼稚園を知らないお子さんはいない訳です。心強い!! そして、これからは更に初めて入園して下さる方にも出会える様に、幅が広がりますようにとその期待も含めて、私たちは園児・保護者の方々と充実した日々を重ね、子どもたちの応援をしていきたいと思っています。今年度もご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

表題にある言葉。これは文科省から出ている子どもたちの心身ともの成長を見据えて書かれた言葉です。幼稚園と学校の違い、まずは、幼稚園での日々の遊びからいっぱい学んでいるということ。集中して取り組んでいる時こそ学びの姿があるとも。そして学んだことを活かし、試行錯誤し、失敗してもやり直せることを知って試してみる。それが身体中に蓄えられて成長するというものです。そして、遊び、学びの道筋を通りながら、その都度「やってみたい」と思うことこそが、まずは学びの芽となり、友だちや周りの環境や地域の人や様々な方・物・こととの関わりを持って、その芽がいかようにでも伸びていくのです。その芽の先は、子ども自身のやりたいことであるのかどうかということもとても大切です。大人が道筋を決めてしまうことでは無い。と親は分かっているのですが・・・。まずは、子育てに必要な環境を整え、木の上に立って見守ることのできる親でありたいと。そして「こんな子どもになってほしい」という願いを込めて、私たちも一人一人がマリアの子どもだよと神様に守って頂く一年を共に遊び、共に学び、それぞれの成長を祈りと共に見守って参ります。

【 チャプレンコーナー 】

年主題：ともに

年聖句：わたしはあなたと共にいる。（旧約聖書・イザヤ書43：5）

4月月間主題：神さまに愛されて

月聖句：神は愛です。（ヨハネの手紙I 4：16）

チャプレンの藤原健久です。チャプレンとは「施設付き牧師」のことです。学校や病院等の施設で宗教活動を行う牧師を指します。私は、幼稚園の礼拝や宗教教育全般に携わっています。どうぞよろしくお願いいたします。

生活表では毎月、その月の主題聖句を解説しています。今月は年度初めですので、年主題聖句と共に解説いたします。

今年のテーマは、「ともに」となっています。とても短い言葉ですが、私たちの本質を表しているように思います。

「人間」は「人の間」と書くように、誰かと共に生きる存在です。厳しい自然の中であって人間は弱いものであり、力を合わせて困難を乗り越えなければ生きていけません。私たちは、仲間たちと共に生きる中で、喜びや希望を共有してきました。それらはある意味、「人間らしい」感情であるということが出来るでしょう。それを一言で言うなら「愛」になります。

「愛」は、「恋愛」だけではありません。「人類愛」「親子の愛」という表現に見られるように、互いに支え合い、思いやりをもって、共に生きることです。

英語では「ともに」は「syn：シン」の接頭辞で表現されます。それに「苦難」を表す「パッション」を加えれば「シンパシー：同情」という言葉になります。この言葉を詳しく調べて、次のように表現した人がいます。「人に寄り添う深いあわれみの心」。この言葉は、「愛」の本質を的確の言い当てていると思います。

私たちは子どもたちが、たくさんの人から愛されることを望んでいます。けれどもそれと同時に大事なのは、人を愛する子どもになることです。

そんなことを、いろいろと考えているのは、大人ばかりかもしれません。子どもたちはその身で、愛することの喜びも愛されることの嬉しさも、十分に表現しています。子どもから「愛」を学んでいきたいと思います。

♡ おたんじょうび おめでとうございます ♡

<生活指導>

- ♥ 季節を問わず、目まぐるしい寒暖の差に、体調管理を十分にしましょう。
 - ・規則正しい生活と、バランスのとれた食事を心がけましょう。
 - ・帰宅後の手洗い、うがいをしっかりしましょう。
 - ・お風呂（シャワー）・シャンプー・耳あか・爪切りなど、清潔に保つ術を子どもたちにも知らせてください。
 - ・こまめに衣服の調節をしましょう。自分でも気付くように。
- ♥ 神様の恵みに感謝しましょう。
 - ・登降園の道々で神様が下さった命を探し、命あるものを大切にしてみましょう。
 - ・幼稚園の送迎・近隣へのお散歩などを通して四季（春から初夏への移り変わり）を感じてみましょう。
- ♥ 自宅でも、自分で出来ることを探し、自信が持てる機会を作りましょう。
 - ・身辺自立に向かって一つずつ挑戦し、自分でできることが増えていきますように。
 - ・大便の後始末が出来るように、また紙の使い方もご家庭で教えてあげてください。
（特に女子は、菌が入らないように拭き方に気をつけましょう。）
- ♥ 進級したことにより新しいお友だちとの関わりも増えてくることでしょう。
集団内で異年齢の関わりを楽しむ為に、朝の登園を早くし、いっぱい自分の思いの中で遊べるように、日々の生活リズムができるだけ一定になりますように。